

科目名	人文学講読演習 I 4 - 2					単位	2.0
担当教員	石川 洋子						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	2	授業番号	4219

●授業のテーマ

『土左日記』を講読することを通して、国語学的に読むと言うことを学ぶ。

●到達目標

『土左日記』を読み味わいつつ、平安時代のことばについて理解を深める。また、平安時代の基礎知識を身につける。

●学習内容(授業概要)

『土左日記』の音韻・文字・文体・語彙・文法・語法等について研究する。併せて、平安時代語についての基礎知識を習得する。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. 『土左日記』概説。
2. 『土左日記』講読。(1) 承平4年12月21日
3. 『土左日記』講読。(2) 承平4年12月22日～12月24日
4. 『土左日記』講読。(3) 承平4年12月25日～12月26日
5. 『土左日記』講読。(4) 承平4年12月27日
6. 『土左日記』講読。(5) 承平4年12月27日～12月29日
7. 『土左日記』講読。(6) 承平5年1月1日～1月6日
8. 『土左日記』講読。(7) 承平5年1月7日
9. 『土左日記』講読。(8) 承平5年1月7日～1月8日
10. 『土左日記』講読。(9) 承平5年1月9日
11. 『土左日記』講読。(10) 承平5年1月9日～1月10日
12. 『土左日記』講読。(11) 承平5年1月11日
13. 『土左日記』講読。(12) 承平5年1月12日～1月14日
14. 『土左日記』講読。(13) 承平5年1月15日～1月17日
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

準備学習は、予習(テキストの下読み)をして出席することを要する。

事後学習は、毎回の学習の要点をまとめておく。

●成績評価方法・基準

学期末試験 60%、平常点 40%

●テキスト(必携)

≪No.1.≫書籍名：影印本 土左日記（新訂版）、著者名：萩谷 朴、出版社：新典社、販売先：(株)Do

●参考文献／その他
講義時に指示する。

●履修上の注意

授業は、受講生の人数により、講義形式か演習形式を決める。

受講生は、前期の「人文学講読演習Ⅰ 4－2」と後期の「人文学講読演習Ⅱ 4－2」の両方を履修することが望ましい。